



わくわくレポート112号  
 杉並区議会議員  
 杉並わくわく会議代表  
**松尾 ゆり**

2009. 3. 19. 発行

連絡先：

杉並区下井草1-25-36

tel&fax 03-5930-3181

ホームページ：

<http://www.suginami-waku2.net/>

## 雇用問題——国にうたえました

3月16日、超党派の地方議員と国会議員が国に雇用対策、地域経済対策を要請する集会が行われました。

労働組合を代表して自治労中央本部から、また、愛知県と神奈川県自動車関連で解雇された当事者の訴え、及び中小企業からの訴えとあわせて、要望書を提出しました。

全国の地方議員250名がこの集会に賛同し、当日は地方議員・国会議員40名以上が参加しました。



要望書を手渡す原田横須賀市議

## 予算を決める区議会。行政の問題点を指摘

来年度予算をきめる区議会が13日閉会しました。

予算審議は全員の議員が参加する予算特別委員会で10日間かけて行われましたが、**松尾ゆり**は以下にかかげた2点などをあげて予算案に反対しました（予算案は賛成多数で可決）。予算についての意見全文と委員会報告は上記HPに掲載しています。

### <予算に対する松尾ゆりの意見>

#### ①経費削減に追われ計画性がない

山田区長のこの10年間、区は財務上の数字ばかりを必死に追いかけ、人員を減らし、予算をきりつめ、サービスを削減してきました。その一方で、各事業分野についての長期的な視野を失ってきました。

#### ●保育園に入れない！

たとえば、**保育園の待機児問題**です。今年は経済の急激な悪化で、入所希望者が急増したのも事実ですが、実は、一昨年ごろからすでに、保育園に入れない人は急増していたのに、区は公立・認可保育園の増設をせず、認証保育園などで**応急に対応**してきました。その結果、今、大勢が保育園に入れず困っています。

(ちなみに2年前とくらべ、0歳児入所希望者はプラス330人と急増したのに対し、認可保育園の0歳児定員は**わずか7名**しか増えていません。待機児急増の根本原因はここにあります。)

#### ●「移動支援」減らしたのは区

また、障害者の「移動支援」サービスの上限を1か月25時間から50時間に倍増すると区は胸を張っていますが、3年前までは**もともと50時間**だったものです。

このかん、福祉事務所、区役所に頼み込んでも、かたくなに25時間にこだわって、どうしてもサービスを利用させてもらえなかったという話をずいぶん聞きました。それほど切り捨ててきたものを、わずか3年で撤回して50時間に戻すということ自体、いかに区が先の見通しなく**コストカット**だけに迫られていることがわかります。やっと3年前の水準に戻すだけであって、いばれる話ではありません。むしろ「これまでご迷惑かけてすみませんでした」と謝ってはどうか。

このような**数字至上主義**の区政運営の姿勢を転換し、区民に必要なサービスをいかにして実現していくかという観点にたつて、本当のビジョンをもった区政にかえていかなくてはなりません。

#### ②雇用、労働問題を軽視する区

**緊急雇用対策**として来年度予算で予定している170名のうち、90名は民間の認証保育所新設などによる人員であり、独自の雇用対策とはいえません。しかも、そのほとんどは非正規の保育士です。残りの80名のうち、3名はなんと「**ボランティア**」で「雇用」ではありません。また質問したところ**月収5万円**程度のアルバイト7名も含まれていることが判明。

その一方で、路上喫煙の過料徴収に**警察OB**を雇うための、これだけはなぜか待遇のいい仕事もあります。

#### ●職員削減は雇用対策に逆行

ところで区は、職員定数削減の目標を来年度110名から120名に前倒しして行うとしています。今でさえすでに人員が足りなくて、職員の皆さんが過重労働になっています。しかも、定数削減によって、さらに新たな雇用が失われ、若者が就労の機会を失います。

#### ●委託先の労働条件に区は責任がある

あわせて、区は民間委託、指定管理等、多くの事業を民間にまかせています。委託先の労働条件の問題は非常に深刻です。委託先の**労働条件をチェック**するしくみづくりは千代田区や国分寺市などで始まっています。**公契約条例**の仕組みを杉並でも検討すべきです。